

「指輪がない！！」 ニューヨーク州ロングアイランド市在住のコーリーンさんは、昨年暮れのとある月曜の朝、20年にわたって身につけている結婚指輪がなくなっていることに気づきパニックに。何と調理中に誤ってゴミ箱に捨ててしまったのだ。が、すでにゴミは回収されており、錯乱状態のまま夫と一緒に回収トラックを追いかけ市外にあるゴミ処理施設へ。

涙ながらに施設作業員のジェレミーさんに指輪が見つかるまでゴミの処分をしないように頼み込み、町中から回収され巨大ダンプの中にあつた数トンの異臭漂うゴミの山へ分け入った。ジェレミーさんら8人の作業員と夫も加わり、期待がますます薄れていく中、ついに激闘4時間、コーリーンさんは自身が捨てたゴミ袋を発見。でも「ない。。。！」と愕然とする彼女に、「もう一度良く見て！」と叫ぶ女性従業員のキムさん。「あつた！！」グチヨつとしたシリアルと肉の間に指輪が隠れていた。抱き合つて喜ぶ10人の人々。

これはイエスの「隠された宝のたとえ話」にソックリだ。

「天の御国は、畑に隠された宝のようなものです。人はその宝を見つけると、

それを隠しておいて、大喜びで帰り、持ち物を全部売り払つてその畑を買います。」

マタイの福音書13章44節、

とあるように、“宝であるイエスの福音”を本気で信じた人は、脇目もふらず神と天国を求めつつ歩むことが出来るが、確信のない人はすぐに諦めてしまうこと指す。さらに大事なのは、これはイエスが異臭漂う世の中に分け入り、十字架にかかるリスクまで犯して本来は尊い価値のある人間を救い出したことを表す。したがって、コーリーンさんが指輪を見つけた後に大量のゴミが全て焼かれてしまったように、イエスは彼を信じない者を無価値な者としてえり分け、焼いてしまわれるのである（**同章45-50節**）。キリストを崇めよう。

